

<複数選択式特訓> 8 「子どもの保健」

@2025sakurakosensei 転載・転売禁止

<問題>

問1

次のうち、気道異物による窒息の子どもを発見した場合の対応として、適切なものを2つ選びなさい。

- 1 意識があり咳き込んでいる場合は、咳を止めるよう促す。
- 2 苦しそうにして反応がある場合は、背部叩打法を開始する。
- 3 意識がなく呼吸をしていない場合は、直ちに心肺蘇生法を行う。
- 4 心肺蘇生の途中で口の中をのぞき込み、指を入れて異物を探る。
- 5 異物が取れるか、反応がなくなるまで、背部叩打法や腹部突き上げ法を繰り返すが、乳児の場合は腹部突き上げ法を使う。

問2

次のA～Dは、感染症名と病原体の組み合わせである。正しいものを2つ選びなさい。

- 1 流行性耳下腺炎 ――― ムンプスウイルス
- 2 咽頭結膜熱 ―――― アデノウイルス
- 3 百日咳 ―――― ヒトパルボウイルス
- 4 伝染性紅斑 ―――― コクサッキーウイルス
- 5 ヘルパンギーナ ――― エンテロウイルス71

問3

次の文は、乳幼児によくみられるアトピー性皮膚炎に関する記述である。適切なものを2つ選びなさい。

- 1 乳児では、アトピー性皮膚炎と診断されることは稀である。
- 2 食物アレルギーがあると、アトピー性皮膚炎になる。
- 3 アトピー性皮膚炎の症状の特徴は、かゆみである。
- 4 アトピー性皮膚炎の症状が出ているときでも、プールに入ることができる。
- 5 アトピー性皮膚炎のある園児は、とくにかぶれやすいので、遊具やおもちゃの材質はプラスチックを避けるのが良い。

<解説>

問1 正答 2、3

- 1 × 意識があり咳き込んでいる場合は、咳き込むことによって異物が排出される可能性があるため、無理に咳を止めようとせず、咳をさせる。
- 2 ○ 救急蘇生法によると、気道異物による窒息において、反応がある場合は、背部叩打法を試す。背部叩打法とは、患者の後ろから、手のひらの基部で、左右の肩甲骨の中間あたりを力強く何度も叩く方法である。
- 3 ○ 救急蘇生法によると、反応がなくなった場合は、子どもの心停止に対する心肺蘇生の手順を開始する。
- 4 × 救急蘇生法では、「心肺蘇生を行っている途中で異物が見えた場合は、それを取り除きます。見えない場合にはやみくもに指を入れて探らないで下さい。異物を探すために胸骨圧迫（心臓マッサージ）を中断しないで下さい。」と示されている。
- 5 × 救急蘇生法によると、子どもの気道異物除去として、乳児には背部叩打法、乳児以外の子どもには背部叩打法や腹部突き上げ法を行うと示されている。

問2 正答 1、2

- 1 ○ 選択肢の通り。
- 2 ○ 選択肢の通り。
- 3 × 百日咳は、百日咳菌が病原体である。
- 4 × 伝染性紅斑（リンゴ病）は、ヒトパルボウイルス B19 が病原体である。
- 5 × ヘルパンギーナは、コクサッキーウイルスが病原体である。

問3 正答 3、4

- 1 × アレルギー反応を起こしやすい体質をアトピー素因という。乳児期にこのアトピー素因により、アトピー性皮膚炎を発症し、診断されるケースは稀ではない。
- 2 × アトピー性皮膚炎の原因として、遺伝的素因（アレルギー体質）とアレルゲン（ダニ・ハウスダスト・食物など）がある。発症の原因は、食物アレルギーだけに特定できない。
- 3 ○ アトピー性皮膚炎は、かゆみのある慢性の湿疹性皮膚炎である。
- 4 ○ アトピー性皮膚炎は、プールの塩素が刺激となることもあるが、プールのあとによく体を洗い、塩素を落とせばよいので、プールに入ることができる。
- 5 × アトピー性皮膚炎を悪化させる原因として、ダニ、ほこり、チクチクする化学繊維・毛素材などが挙げられる。プラスチック製品は洗って清潔にすることができるので、避ける必要はない。